

- 軸受けに使用される鍛造リング製造のプロセスにおいて、多くのエネルギー使用を伴うことから、近江鍛工株式会社は、2001年にISO14001を取得し環境に配慮した活動に取り組んできた。2050年のカーボンニュートラルに向けて、問題とされる気候変動の取り組みにおいても当社の重要課題として捉え、対策を進めている。
- 今回の計画では、風力発電設備の軸受けに使用される大型の鍛造リング製造を行う信楽工場において、主要設備の更新と大規模な太陽光発電の導入などによる再エネ活用により、排出量の削減と生産性の向上に取り組んでいく。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2024年1月～2026年11月

2. 生産性向上目標

信楽工場の炭素生産性を10.5%向上させることを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

- 大型リングミルの導入による使用エネルギーの低減、オペレーションの効率化、加工精度の向上による高付加価値化
- 大規模な太陽光発電設備の導入等による再エネの活用

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

